

令和7年度第1回 油津歴史文化遺産活用事業推進会議

令和7年6月12日

未来創生課作成

会議録（要点記録）

開 催 場 所	日南市役所 本館2階 会議室1		
会 議 日 時	令和7年6月12日（木）	時 間	13:30～15:30
会 議 出 席 者	【委員】 益田委員、細田委員、落合委員、廣池委員、山口委員、楠委員、藤本委員、長友委員、宮口委員、鬼束委員、木方委員（オンライン参加） 【油津の歴史文化遺産を活用したまちづくりコーディネーター】 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 （コーディネーター）大野博堂氏 （サポーター）坂田氏、相川氏、押田氏 【事務局】 高橋市長 （未来創生課）古澤課長、吉元課長補佐、山倉副主幹、吉野主任主事 （観光・クルーズ課）渡野課長補佐、遠藤副主任主事 （生涯学習課）重永課長、平原係長、佐藤副主幹		
会 議 の 次 第	1 開 会 2 市長あいさつ 3 議事 （1）各種事業の進捗状況について ① 歴史資料館整備 ア 事業費の増嵩について イ 基本設計図書（案）について ※資料は委員のみに配付 ウ 事業費調整（案）について エ 今後のスケジュールについて ② 花峯橋整備事業 ③ 市民団体活動支援事業 4 コーディネーターとの意見交換 【テーマ】油津地区におけるグリーンスローモビリティ導入の可能性について 5 そ の 他 6 閉 会		
【 内 容 】			
1 開会（13時30分） ・本会議の会議録（要点記録）の市のホームページへの掲載について説明。 ＜次ページへ続く（1／4）＞			

2 市長あいさつ

3 議事（議長（委員長 益田委員）進行）

（1）各種事業の進捗状況について

① 歴史資料館整備 ※ア～エまで一括して事務局より説明。その後質疑応答。

ア 事業費の増嵩について

イ 基本設計図書（案）について

ウ 事業費調整（案）について

エ 今後のスケジュールについて

【主な意見・質疑等】※展示の基本計画のうち、ジオラマについて委員の考えを確認

（委員）ジオラマは、現在の油津を示したものなのか。それとも、林業等で栄えた頃の油津なのかお伺いしたい。

⇒（事務局）時代設定がいつになるかは、今後の詳細設計の中で決定する。

（委員）鹿児島県の石橋記念公園のジオラマを何度か見たが、石橋製作の工程が一目瞭然で分かる。油津の歴史を伝えるに当たって、分かりやすいのはジオラマだと思うので、事業費の都合で規模縮小するにしても、設置はしてもらいたい。

（委員）資料館のメインになるのは何かというのが重要であると思う。これを見たいというものがあれば、ジオラマにこだわる必要はないと思う。

（コーディネーター）地域の子どもたちに対して歴史教育を施すことを大事にし、資料館では、堀川運河周辺のポイント、ポイントを指し示し、歴史的な経緯などを伝える工夫をし、外に出て実際に見てもらう、そういったプランを考えている。

（委員）ジオラマをどうするかは、その有用性等を考えると判断が難しいと思うが、一方で、あれほど分かりやすく伝えられるものはないと思っている。油津にはいろいろな人が喜んでくれるコンテンツが多くある。ジオラマを「見るだけのもの」ではなく、「アクションに繋がるもの」として設置するのもいいのではないかと考える。

⇒（事務局）ジオラマについては、いただいたご意見を参考に、事業費を精査しつつ、場合によっては別の物への置き換えや、ジオラマをなくしてくつろぎの空間を作るなど、いろいろな案も検討する必要があると考える。

<次ページへ続く（2／4）>

② 花峯橋整備事業

- ・事業進捗状況について、事務局より説明
- ・令和7年6月17日から18日にかけて、工事現場で現地説明会を開催することを周知。

【主な意見・質疑等】

- ・特になし

③ 市民団体活動支援事業

- ・事業概要、募集要項等について、事務局より説明。
- ・令和7年6月16日（月）から募集が始まること、申請件数によっては審査会を開催し、審査委員に、本推進会議の委員に兼任していただくことを説明。

【主な意見・質疑等】

（委員）採択件数の5件は、令和7年度のみか。

⇒（事務局）お見込みのとおり。令和8年度以降は未定。

4 コーディネーターとの意見交換

【テーマ】油津地区におけるグリーンスローモビリティ（以下、「グリスロ」）導入の可能性について

（コーディネーター大野氏、サポーター坂田氏より資料に沿って説明）

- ・グリーンスローモビリティの導入は、コーディネーター業務のプロポーザルでも提案。
- ・概要、有用性、活用可能な補助金制度、導入事例について説明。

【主な意見・質疑等】

（委員）時間単位での貸出は可能か。

⇒（コーディネーター）所管の警察等の判断を仰ぐことにはなと思うが、無償であれば可能ではないかと考える。有償となると事務手続きが煩雑になるのではないかと考える。

（委員）他地域の事例で、実証から導入までに期間を要しているところもある。なぜか。

⇒（コーディネーター）公表された資料によると、当初は地域住民の方の利用が大半を占めると踏んでいたところ、思うような集客が得られなかったため、周知の相手先を観光客に切り替えるなど、戦略を見直したとのこと。このことが、一つ要因になったのではないかと考える。

<次ページへ続く（3／4）>

(委員) 他の交通手段とどのように組み合わせるのか、考えを聞きたい。車で来る方、ＪＲで来る方様々いると思うが、車で来られる方がメインとなるのか。

⇒ (コーディネーター) どちらもあり得ると思う。車の場合、パークアンドライド方式で、グリスロに乗り換えていただいて、まずは資料館、その後花峯橋等に行くといったモデルコースが考えられる。

一方、ＪＲの場合は、駅でグリスロに乗り換えてもらい、商店街を経由して資料館へ来てもらい、その後は同じ、というのも検討できるのではないかと考える。

(委員) グリスロを導入し、まち全体の交通体系や道路利用の仕方などへの影響を実証した事例はあるか。

⇒ (コーディネーター) 研究所において、欧州で取り入れられている MaaS (マース) の実証環境の視察を毎年行っている。最初にお金を支払うことで、ありとあらゆるツールを用いた自由な移動、買い物が可能になるといった仕組みで、そのラストワンマイルという位置づけで、グリスロが注目されてる実態がある。

油津を取り巻く環境と近似していると思われるため、プロポーザルの際に提案させていただいた。

5 その他

【主な意見・質疑等】

(委員) 油津の建設資材販売会社が、昔の林業関係の道具を持っているという話を聞き、実際に見てきた。二人で挽くノコなど、様々な道具があった。今後資料館を整備することも伝えているので、ぜひ見に行ってほしい。

(委員) 水辺利活用事業は今後どのように進めていくのか。部会を設置して、いろいろな意見を聞くことになると思うが、早めに設置すべきではないか。

⇒ (コーディネーター) 今年度は遊歩道の整備計画策定、周遊プラン検討を行う予定で、すでに担当課が仕様書の作成に取り掛かっている。部会の設置は、当初計画よりずれ込んでいるが、設置のタイミングや部会に諮る内容など、改めて検討を行い、調整を進めていきたい。

6 閉会 (15時30分)